

「旅」上質主義 ワールド航空サービスの旅づくり

これまでも、これからも、いつまでも。
生涯の心に残る楽しい感動的な旅を。

旅に心の潤いを求めるお客様へ。私たちは1971年の創業以来、お客様の満足を最優先に考え、常に新たな挑戦を続けてきました。これが私たちの歩んできた道であり、これからも変わることはありません。お客様の期待に応えるために、私たちは多様なサービスと独自の旅づくりを続けて参りました。安心で楽しく、そして満足度の高い旅を提供するために、私たちが大切にしている理念と取り組みをホームページや印刷物でご紹介しています。私たちの旅づくりは、これまでも、これからも、いつまでも、お客様の心に寄り添い続けます。

ワールド航空サービスの「サステイナブルな旅づくり」にご協力ください

これまで海外旅行にご参加いただいたお客様に、資料発送時にお送りしていましたA4サイズのプラスチック製ファイルや、スーツケースのタグを環境配慮への取り組みとして、これまでのプラスチック製から素材を見直しました。環境負荷を低減する植物由来樹脂を一部配合したフィルムを使用。破れにくく、水をはじく素材です。印刷はベジタブルインクを使用。小型化し、2つ折りで旅のしおり等の持ち運びにもぴったりのサイズにしました。

「ワールド航空サービスの旅づくり」は印刷物でもご用意しています。ツアーもパンフレットとともにご請求ください。なおホームページからもご覧いただけます。私どもの「こだわり」をぜひご覧ください。



様々なサステイナブルな旅づくりへの取り組みを行っています
詳しい内容は
ホームページでご覧いただけます。



●この画面は、旅行業法第12条の4による取引条件説明書面及び旅行契約が締結された場合は同法第12条の5により交付する契約書面の一部となります。お申込に際しては別途交付する旅行条件書(全文)をご確認の上、お申込みください。

ご旅行のご案内とご注意・条件(抜粋)

●旅行契約の成立

旅行契約は、当社が旅行契約の締結を承諾し、申込金を受理した時に成立します。

●旅行代金のお支払い

旅行代金は、旅行開始日の前日から起算してさかのぼって21日目に当たる日より前にお支払いいただきます。

●お支払い対象旅行代金

「お支払い対象旅行代金」とは、「旅行代金として表示した金額」と「追加代金として表示した金額」の合計額をいいます。

●旅行代金に含まれるもの

(1) パンフレット等、当社ホームページの旅行日程に明示した次に掲げるものが含まれます。

- ① 運送機関の運賃・料金(パンフレット等に特に別途の記載がない限り、航空機の場合はエコノミークラス、鉄道は普通車を利用します。)
- ② 送迎バス料金、都市間の移動に係るバス料金、観光に伴うバス料金
- ③ 宿泊機関の宿泊料金及び税・サービス料金(パンフレット等に特に別途の記載がない限り1部屋に2名で宿泊した場合を基準にします。)
- ④ 食事の料金(機内食は除く。)*及び税・サービス料金
- ⑤ 添乗員等(企画旅行に同行して旅程管理業務を行う者等)が同行するコースにおける添乗員等の旅行費用
- ⑥ 観光に伴うガイド料金、観光施設の入場料等
- ⑦ 航空会社等が定める個数・重量の無料手荷物許容量の範囲内の受託手荷物運送料金
- ⑧ 団体行動時の必要な心付け
- ⑨ 旅行日程中の海外の空港税、通関税、同空港利用料
- ⑩ その他パンフレット等において、旅行代金に含まれる旨を表示したもの

(2) 前(1)に記載したものは、お客様の都合により一部利用できなくても払戻しの対象外となります。

●旅行代金に含まれないもの

上記以外は旅行代金に含まれません。その一部を例示します。

- (1) 超過手荷物料金(特定の重量・容量・個数を超える分について)
- (2) 個人的性質の諸費用及びそれに伴う税・サービス料金
- (3) 渡航手続関係諸費用(旅券印紙代・査証料・予防接種料金・渡航手続代行料金)
- (4) お1人部屋を使用される場合の「1室1名利用追加代金」
- (5) 日本国内の空港施設使用料、国際観光旅客税
- (6) 港湾利用料、政府関連諸税等
- (7) 燃油サーチャージ(旅行契約成立後に増額された場合は、増額分の差額は徴収し、また、減額・廃止された場合は、減額分は、払戻しをいたします。)

●お部屋について

(1) 部屋割り、原則としてホテル又は船会社が予め定めております。また、ホテルや船室では部屋により調度品や広さが異なる場合があります。当社ではバスタブ付き客室をご用意するよう努めておりますが、各

地域の特性や施設の事情によりシャワーのみとなる場合があります。

(2) 可能な限り2人用の客室にはシングルベッドが2台の「ツインベッドルーム」をご用意いたしますが、ホテルによっては、「ダブルベッドルーム」に2台目のベッドとして簡易ベッドを入れてご利用いただく場合もございます。また、ご夫婦でご参加の際は、「1ベッドタイプ」で大型ベッド1台のみのご利用となる場合があります。(なお、「ツインベッドルーム」には2つのベッドマットが1つの枠の中に入っている「ジャーマンツイン」の客室、2つのベッドのサイズや種類が若干異なる客室も含まれます。)

※ホテルの★の数の記載に関して

弊社では、これまで各国の正式な評価基準に基づき、利用ホテルの★の数を記載してまいりました。しかしながら、昨今は欧米の大手ホテルチェーンであっても未登録のホテルが増えていること、★の数が必ずしもホテルの品質を担保するものではない現状を鑑み、ホテルの★の掲載を取り止めております。なお、これまで通りツアー内容やコンセプトに合わせて可能な限り快適なホテル選定を心がけております。

●クルーズ旅行における寄港地上陸観光

船のスケジュール及び上陸観光地は乗客の安全を最優先と考え、天候やその他現地事情により、船長の判断によって予告なしに変更されることがあり、その権限は船長が持っています。また、その変更による払戻しはございません。

●航空機について

座席配列により、グループ・カップルの方でも隣り合わせにならない場合があります。なお、窓側・通路側のご希望は、すべてのご希望をかなえることは不可能ですので、ご容赦ください。

●時間帯の目安について

当社は、原則として時刻を記載した日程表を交付しておりますが、地域により時刻を記載できない一部の日程表については、下記の時間帯で表記します。

04:00	08:00	12:00	16:00	18:00	22:00
朝	午前	午後	夕刻	夜	深夜

●日程表中のマークについて

■観光について：●＝入場観光 ○＝下車観光 ㊦＝ユネスコ世界遺産
■お食事：■＝朝食 ㊦＝昼食 ㊦＝夕食 ㊦＝機内食 □＝食事なし㊦＝軽食(通常よりもお体にやさしい軽めの食事です)
■乗り物：✈＝航空機 ㊦＝バス ㊦＝列車 ㊦＝自動車 ㊦＝船 ㊦＝ロープウェイ

●本パンフレットの掲載写真と地図について

パンフレットには、よりお客様に訪問地のイメージを掴んでいただけたよう、ツアーに即した写真を掲載するように努めておりますが、必ずしも同じ角度や高度でご覧いただけるという保証ではございません。また、掲載しております地図は、おおよその位置関係と宿泊地、訪問地を示し、イメージを掴んでいただくためのものです。

●旅行契約の解除・払戻しについて

旅行契約が成立した後に以下の区分により定められた取消料をお支払いいただくことにより、お客様は旅行契約を解除することができます。

旅行契約の区分	適用する取消料
日本出国時又は帰国時に航空機を利用する募集型企画旅行契約並びに海外を出发地及び到着地とする募集型企画旅行契約(貸切り航空機を利用するコースを除きます。)	<表1>
日本出国時又は帰国時に貸切り航空機を利用する募集型企画旅行契約	当該パンフレット等に別途明示する取消料によります。
旅程中に3泊以上のクルーズ日程を含む旅行でパンフレット等に別途明示があるもの	当該パンフレット等に別途明示する取消料によります。
日本発着時共に船舶を利用する募集型企画旅行契約	当該船舶に係る取消料の規定によります。

<表1> 日本発着時又は帰国時に航空機を利用する募集型企画旅行契約並びに海外を出发地及び到着地とする募集型企画旅行契約

旅行契約の解除期日	取消料
旅行開始日がピーク時の旅行である場合であって、旅行開始日の前日から起算してさかのぼって40日目に当たる日以降31日目に当たる日までで解除するとき	¥30,000 お支払い対象旅行代金 30万円未満のときは10%
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって30日目に当たる日以降21日目に当たる日までで解除するとき	¥50,000 お支払い対象旅行代金 25万円未満のときは20%
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって20日目に当たる日以降3日目に当たる日までで解除するとき	お支払い対象旅行代金の20%
旅行開始日の前々日に当たる日から当日(旅行開始前)までに解除するとき	お支払い対象旅行代金の50%
旅行開始後に解除するとき又は無連絡不参加のとき	お支払い対象旅行代金の100%

(注1) 旅行契約解除の申出は、当社の営業日の営業時間内をお願いします。当社の営業日の営業時間、連絡先(電話番号等)及び連絡方法は、お客様自身でも申込時に必ずご確認ください。

(注2) 「ピーク時」とは、12月20日から1月7日まで、4月27日から5月6日まで及び7月20日から8月31日までをいいます。

(注3) <表1>の「お支払い対象旅行代金」とは募集広告又はパンフレット等に「旅行代金として表示した金額」と「追加代金として表示した金額」の合計額をいいます。

●旅行条件・旅行代金の基準

ご旅行条件につきましては、このパンフレットに記載しました契約内容・条件の他、旅行条件書(全文)、確定書面(最終旅行日程表)及び当社の旅行業約款によります。ご旅行条件は、2024年11月1日現在の運賃・料金を基準としております。

心に残る高品質な旅 WORLD スペイン・ポルトガル 東京発 2025.4月▶10月出発

- ① アンダルシア探訪
古都セビリア滞在と栄光のアルハンブラ
- ② バルセロナにはゆとりの3連泊
スペイン周遊の旅
- ③ 北スペインの景勝と美しき街々
サンチャゴ巡礼路と2つのパレードの旅
- ④ アンドラ公国と美しきピレネー山麓の旅
- ⑤ 大航海時代の建築と美しき街々
ポルトガル周遊の旅

東西文明が闘ぎ合う最前線であった イベリア半島。 混交した独自の文化を各地で巡る。

サンチャゴ・デ・コンポステーラ

旅行企画・実施 **ワールド航空サービス**

□ **東京支店** TEL：03-3501-4111

東京都千代田区有楽町1-5-1 日比谷マリビル 4階 〒100-0006 総合旅行業務取扱管理者 松崎 浩

□ **大阪支店** TEL：06-6343-0111

大阪市北区梅田1-1-3 大阪駅前第3ビル29階 〒530-0001 総合旅行業務取扱管理者 信濃 貴宣

□ **名古屋支店** TEL：052-252-2110

名古屋市中区栄3-14-7 RICC栄8階 〒460-0008 総合旅行業務取扱管理者 柴崎 範朗

□ **九州支店** TEL：092-473-0111

福岡市博多区博多駅東2-5-28 博多信成ビル2階 〒812-0013 総合旅行業務取扱管理者 木村 咲子

□ **札幌支店** TEL：011-232-9111

札幌市中央区北1条西2-1 時計台ビル 5階 〒060-0001 総合旅行業務取扱管理者 真島 智

□ **藤沢支店** TEL：0466-27-0111

神奈川県藤沢市藤沢484-1 藤沢アンパビル 3階 〒251-0052 総合旅行業務取扱管理者 近 博之

※総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引に関する責任者です。この旅行に関し、担当者からの説明にご不明な点があれば、ご遠慮なく上記の旅行業務取扱管理者におたずねください。(株)ワールド航空サービス観光庁長官登録旅行業201号

WEBも
どうぞ



https://www.wastours.jp

ワールド航空

検索

営業時間/月曜日～金曜日 午前9:30～午後5:30(土・日・祝は休業)



ボンド保証会員



旅行業公正取引
協議会 会員



スペインの美しい道

アンダルシア探訪 古都セビリア

滞在と栄光のアルハンブラ 10日間



アンダルシアの州都セビリア

ここに注目。旅のポイント

イスラム王朝時代、キリスト教時代、現代まで続くアンダルシアの文化、芸術の中心都市セビリアに4連泊

現在のアンダルシアの州都セビリア。地中海と大西洋を結ぶ重要な貿易路に位置し、中世の時代に経済的に繁栄しました。また、イスラム文化とキリスト教文化が交わる場所として文化、芸術面でも中心となったセビリアは、2つの宗教が融合した見事な建築がいっぱい。アルカサルやヒラルダの塔、カテドラルなどじっくりとご案内します。また、様々な民族が居住した歴史が現在に息づいており、古代ローマの城壁とユダヤ人街、そして現代



セビリア旧市街は路地裏歩きが楽しい

の生活が交錯するサンタクルス街の路地裏歩きもお楽しみいただけます。



かつてモスクのミナレットだったヒラルダの塔



パルの多いセビリア。地元の人に交じって名物のタパスをお楽しみいただけます(イメージ)

イスラム王朝最盛期の都コルドバ。街に残る当時の記憶を辿る

イスラム王朝最盛期の都コルドバ。500年近くにわたるイスラム時代の記憶は街のいたるところで感じられます。中でも10世紀に築かれた巨大なモスク「メスキータ」の赤と白のストライプに塗られたアーチは「円柱の森」の呼ばれ、多くの信者が礼拝を行っていた往時の姿を偲ぶことができます。また、カスティーリャ王が建設し、ムデハル様式の建物や庭園が見事な王宮「アルカサ



メスキータに残る通称「円柱の森」。当時のモスクの様子が今に残されています

ル」や、近年発掘が進められ一般公開されたイスラム王朝時代の離宮ザフラー宮殿の遺構も訪ねます。



近年発掘が進められ一般公開されたザフラー宮殿



ツアープランナーより

新シリーズとして発表するヨーロッパの「美しい道」。スペインの「美しい道」の第一弾はアンダルシア地方の「カリフ王国の道」です。この道は2つの王朝時代に都が置かれたコルドバ、グラナダを結んでおり、道中には周囲の山々に隠されたように佇む白い村スエロスや、キリスト教徒によって美しいバロック様式に変貌した教会が美しいプリエゴ・デ・コルドバなど、見どころも多いルートです。旅の前半はアンダルシアのセビリアで4連泊。地中海と大西洋への玄関口としてカリフ王国の都コルドバよりも大きく繁栄し、大航海時代に黄金期を迎えました。圧巻の大聖堂、ムデハル様式の王宮アルカサルなど歴史地区をたっぷりご案内します。そして、最後のイスラム王朝の都グラナダ。キリスト教徒があまりの美しさに破壊の手を止めたと言われるアルハンブラ宮殿で旅を締めくくります。(注)



イスラム教徒の職人たちによる見事な装飾が遺るアルカサル

半島に残るイスラム建築の最高傑作と称されるアルハンブラ宮殿へ(注)

最後のイスラム王朝ナスル朝の都グラナダ。そこに今なお圧倒的な美しさを放つアルハンブラ宮殿。レコンキスタで征服したキリスト教徒も、あまりの美しさに破壊の手を止めたと言われています。宮殿は歴代の王によって拡張される度に大



夜にはライトアップされた幻想的な景観をお楽しみいただけます(イメージ)



アルハンブラ宮殿のライオンの中庭



緑豊かなヘネラリフェ庭園

アンダルシアの秘密の村スエロスなどカリフ王国の道に残る小さな町や村を訪ねます

アンダルシア地方の白い村の中で、観光客がまだ少ない村スエロス。コルドバ周辺では最も美しい村とも言われ、崖の上にはアラブの古城が聳え、白壁と黄土色の屋根の家々が建ち並び印象的な村です。また、



カリフ王国の道沿いで栄えたプリエゴ・デ・コルドバ

周囲を山々に囲まれ、イスラム時代とバロック芸術の混在するプリエゴ・デ・コルドバなど、グラナダへと続くカリフ王国の道沿いに点在する町や村にも足を伸ばします。



アンダルシアの秘密の村とも称されるスエロス(イメージ)

利用予定航空会社：ターキッシュエアラインズ、エミレーツ航空、カタール航空、エティハド航空、エールフランスグループ、イベリア航空、日本航空
ツアーコード：EUJ398T

集合・日数・出発日	旅行代金	
【羽田または成田空港集合・10日間】 5月18日(日)	エコノミークラス利用 ¥698,000	ビジネスクラス利用 ¥1,218,000
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥120,000にて承ります)		
ビジネスクラス利用区間：日本発着の国際線区間に適用		
燃油サーチャージ別途目安：¥74,500：10月1日現在		

地方発着追加代金	大阪・名古屋～東京 片道 …… ¥5,000 福岡・札幌～東京 片道 …… ¥10,000	包付条件がございますので 各支店へお問い合わせください
----------	--	--------------------------------

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	羽田空港22:05発▶	深夜、羽田空港より、航空機にてイスタンブールへ。	(機中泊) □□機
2	イスタンブール05:55着 イスタンブール07:55発▶ マドリッド10:30着▶ セビリア夕刻着	航空機を乗り換え、マドリッドへ。着後、高速新幹線AVEにてアンダルシア地方のセビリアへ。 【4連泊】(セビリア泊) 機□夕	
3	セビリア	午前、徒歩と路面電車を利用しセビリアの観光。●カテドラルや○ヒラルダの塔、コロンブスやマゼランの自筆文書を擁す●古文書館、イスラム風の王宮●アルカサルを見学します。 昼食は地元の人々にも人気のバルにてスペイン名物のタパスをお楽しみください。午後、自由行動。	(セビリア泊) 朝昼□
4	セビリア	午前、細い路地が入り組んだサンタクルス街の散策へ。地元の人々が生活する地区は古代ローマの城壁跡、ユダヤ人街、現代の生活が交錯するエリアです。路地裏歩きを楽しみましょう。午後、ホテルに戻り休憩。 夕刻、●フラメンコ博物館へ。 夜、ご希望の方は老舗タブラオにて本場フラメンコをお楽しみください。	(セビリア泊) 朝□夕
5	セビリア▶(ヘレス・デ・ラ・フロンテーラ)	午前、列車にて(約1時間)シェリー酒で有名なヘレス・デ・ラ・フロンテーラへ。シェリー酒の酒蔵見学と試飲をお楽しみください。午後、セビリアへ戻り自由行動。	(セビリア泊) 朝昼□
6	セビリア09:00発▶ コルドバ10:30着	午前、コルドバへ。イスラム王朝時代の栄華を感じる1日です。途中、後ウマイヤ朝時代の離宮●ザフラー宮殿へ。近年発掘がすすめられ約1000年前の遺構が公開されました。午後、■コルドバに残るイスラム王朝時代からの芸術的な建築、●メスキータや●アルカサルを見学します。	(コルドバ泊) 朝昼夕
7	コルドバ09:00発▶ プリエゴ・デ・コルドバ▶ スエロス▶ グラナダ16:30着	午前、カリフ王国の道を辿りイスラム王朝最後の都グラナダへ。途中、プリエゴ・デ・コルドバやアンダルシアの秘密の村とも言われるスエロスへ。夕刻、グラナダへ 夕食後、ライトアップした■アルハンブラ宮殿(外観のみ)をご覧ください。	【2連泊】(グラナダ泊) 朝昼夕
8	グラナダ	午前、イスラム建築の最高傑作とされる■アルハンブラ宮殿の見学へ(注)。イスラム芸術のエッセンスを見事に表現したナスリ宮殿、パティオ、ヘネラリフェ庭園などじっくりと見学します。午後、自由行動。	(グラナダ泊) 朝□夕
9	グラナダ発13:40発▶ マドリッド14:50着 マドリッド18:45発▶ イスタンブール23:55着	午後、航空機にてマドリッドへ。着後、航空機にてイスタンブールへ。	(機中泊) 朝□機
10	イスタンブール02:00発▶ 羽田空港19:20着	深夜、航空機を乗り換え、帰国の途へ。夜、羽田空港に到着後、解散。	機機□

※日程表の時刻は羽田空港発着のターキッシュエアラインズの便を想定したものです。ターキッシュエアラインズの成田空港発着便、または他航空会社を利用の場合には、発着空港および時刻、日程は異なります。また、復路は国内線にてマドリッド空港以外に、バルセロナ空港を経由する場合や、マラガ空港を利用する場合があります。スーツケースの重量は23kgまでとなります。

(注) アルハンブラ宮殿は、昨今、事前予約が難しい状況となっております。また、予約には訪問者の氏名とパスポート情報が必要となります。出発日の30日前に予約を試みますが、予約が出来なかった場合には、入場料をご返金させていただきます。予めお含みおきの上、ツアーへのお申し込みをお願い致します。尚、入場出来ること参加の条件というお客様につきましては、出発日31日前まではツアーへの正式予約は承れませんこと、予めご了承ください。また、予約の状況によっては日程を入れ替えてご案内する場合があります。

ご旅行条件とご注意
■最少催行人員：10名様 ■食事：朝食7回、昼食4回、夕食5回 ■添乗員：羽田空港または成田空港ご出発時から羽田空港または成田空港ご到着時まで同行します。 ■バスポート必要残有効期間：帰国時150日以上 ■バスポート査証未使用欄：1ページ以上必要

ご宿泊ホテル
■セビリア：NHコレクション サン・ベルナルト駅から徒歩10分程に位置するアメリカンタイプのホテル。旧市街からは約2キロの距離に位置しています。 ※シャワーのみの客室となります。
■コルドバ：マシア・アルファロス
■グラナダ：バルセロ・カルメン グラナダ大聖堂から徒歩15分ほどに位置するホテル。 ※シャワーのみの客室となります。
※バスタブ付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情及び昨今の世界的な「シャワーのみの客室」増加により、シャワーのみとなる場合がございます。

バスクから聖地サンチャゴへ
北スペインの景勝と美しき街々
サンチャゴ巡礼路と2つのパラドールの旅
11日間



巡礼路の終着点サンチャゴ・デ・コンポステーラの大聖堂

ここに注目。旅のポイント

サンチャゴ巡礼路を辿り、
巡礼者とともに実際に歩くことでより印象的に訪ねる

多くのツアーではレオンからサンチャゴ・デ・コンポステーラまで1日で駆け抜けてしまいますが、今回のツアーでは途中のルーゴであえて1泊。2日間にわたって2回(約1時間と約2時間)、比較的平坦な木陰の巡礼路(旧街道)を歩きます。バス移



サンチャゴ巡礼路を歩く(イメージ)

巡礼路上の歴史的重要都市レオンに連泊し、
歴史・芸術にふれる

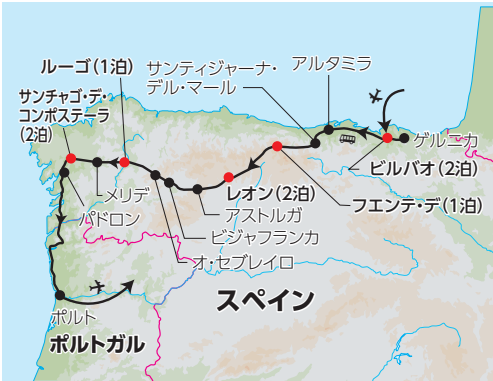
10世紀頃、キリスト教徒が治めたレオン王国の都だったレオン。レオンの中心部に建つカテドラルはスペインのゴシック建築の最高傑作と称えられ、その細密な装飾、ステンドグラスは圧巻です。壁全体の面積よりもステンドグ

動だけでは分からない、実際に巡礼路を歩くからこそ分かる、その雰囲気を感じ取ってください。巡礼路を歩いた後で、歓喜の丘からサンチャゴの街を見下ろすと、より一層感慨深いものがあるでしょう。



大聖堂の目の前のパラドールに宿泊しますので、ライトアップされた幻想的な景観もお楽しみいただけます(イメージ)

ラスの面積が多く、世界一ステンドグラスの比率が多い教会とも言われています。また、レオン国王が埋葬されるサン・イシドロ教会は霊廟の天井にフレスコ画がぎっしりと描かれており、レオン王国の栄華を感じさせます。



ツアープランナーより

北スペインの魅力は宗教的エネルギーにより生まれた歴史遺産が挙げられ、その象徴とも言えるのが聖地サンチャゴ巡礼で、近年では独自の民族文化と歴史的価値観にとらわれない芸術性を持つバスク地方が注目を浴びています。今回はバスクからサンチャゴのあるガリシアへのルートとし、途中は知られざる大自然、切り立った岩山に圧倒されるピコス・デ・エウロパ国立公園宿泊も訪れ、北スペインの多様な魅力を存分にお楽しみいただける内容としました。宿泊についても大聖堂の目の前のサンチャゴと、山岳風景が背後に迫るフエンテ・デで2つのパラドールに宿泊です。また、サンチャゴ巡礼路では1～2時間程度の巡礼路体験ウォークで巡礼者と同じ目線でその歴史を感じていただきます。緑輝く初夏から初秋までの設定です。



レオン大聖堂の見事なステンドグラス



サン・イシドロ教会の色彩豊かなフレスコ画

知られざる北スペインの景勝地ピコス・デ・エウロパの
雄大な山岳風景を満喫

「ヨーロッパの頂」を意味するピコス・デ・エウロパ。標高2,500メートルを超える40もの峰々から構成され、迫力ある山岳風景をご覧ください。今回はピコス・デ・エウロパ国立公園の麓フエンテ・デのパラドール

に宿泊が実現。背後には垂直に切り立つ山々がご覧いただける絶好のロケーションです。さらに翌朝ロープウェイで展望台へ。知られざる北スペインの景勝地、雄大な山岳風景には圧倒されることでしょう。



ピコス・デ・エウロパの麓に宿泊(イメージ)



展望台から望むピコス・デ・エウロパの山々(イメージ)

バスク地方のアートと建築の街ビルバオに2泊。バスク
人の心の故郷、ゲルニカや近郊の世界遺産を訪ねる

バスク地方の主要都市ビルバオはアートと建築の街として知られ、シンボルである巨匠フランク・ゲイリー設計のグッゲンハイム美術館や郊外には世界最古の運搬橋として世界遺



ビルバオの顔ともなったグッゲンハイム美術館(イメージ)



世界遺産ビスカヤ橋ではゴンドラにも乗車

ご宿泊ホテル

圧倒的な大自然の中のパラドールと
歴史的雰囲気たっぷりのパラドールに宿泊

今回の旅のこだわりの一つが宿泊ホテルです。ピコス・デ・エウロパ国立公園の麓フエンテ・デではパラドールに宿泊し、ピコス・デ・エウロパの山々を眺める展望台からの雄大な山岳風景をお楽しみいただけます。そして、サンチャゴ巡礼路の終着点、サンチャゴ・デ・コンポステーラではスペイン国内の全パラドールの中でも屈指の人気を誇り、大聖堂の目の前に建つ歴史あるパラドールに2連泊します。

■ フエンテ・デ：パラドール・デ・フエンテ・デ

スペイン初の国立公園内に位置し、大自然を満喫できます。背景にカンタブリア山脈の最高峰、ピコス・デ・エウロパの切り立った稜線が迫り、ホテルの敷地から迫力ある山々を望むことができます。



ピコス・デ・エウロパの麓に位置するパラドール(イメージ)

■ サンチャゴ・デ・コンポステーラ：
パラドール・デ・サンチャゴ・デ・コンポステーラ

1499年にカトリック両王イザベルとフェルナンド2世の命により建てられた王立病院兼宿泊地を改装した重要歴史建造物です。プラテレスコ様式の玄関口、サロンの古風なシャンデリアや大理石の階段、上品な調度品など、建物全てに歴史の重みを感じられます。ホテルは巡礼者が多く集まるオブラドイロ広場に面して建ち、目の前には大聖堂が聳える素晴らしい立地です。



石造りの重厚感のある建物

- ビルバオ：ホテル・カールトン(6/2発)、セルコテル・コリセオ(7/7発、9/29発)
- レオン：NH コレクション・レオン・プラザ・マヨール
レオン旧市街のマヨール広場に位置し、レオン大聖堂まで徒歩10分弱で行くことができます。
- ルーゴ：ユーロスターズ・グラン・ホテル・ルーゴ

※フエンテ・デ、サンチャゴ・デ・コンポステーラのパラドールでは、2名様利用の客室のベッドタイプはダブルベッドとなる場合があります。

※バススタブ付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情及び昨今の世界的な「シャワーのみの客室」増加により、シャワーのみとなる場合がございます。

利用予定航空会社：ターキッシュエアラインズ、カタール航空、エールフランスグループ、LOT ポーランド航空、ルフトハンザグループ、日本航空
ツアーコード：EU043T

集合・日数・出発日		旅行代金	
【羽田または成田空港集合・11日間】 7月7日(月), 9月29日(月)		エコノミークラス利用 ¥785,000	ビジネスクラス利用 ¥1,365,000
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥140,000にて承ります)			
ビジネスクラス利用区間：【ターキッシュエアラインズ、カタール航空の場合】東京～中東主要都市～ビルバオ/ポルト～中東主要都市～東京間に適用 【上記以外の航空会社の場合】日本発着の国際線区間にてのみ適用			
燃油サーチャージ別途目安：¥74,500：10月1日現在			
地方発着追加代金	大阪・名古屋～東京 福岡・札幌～東京	片道 …… ¥5,000 片道 …… ¥10,000	包付帯条件がございますので 各支店へお問い合わせください

駅	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	羽田空港21：55発	夜、羽田空港より、航空機にてイスタンブールへ。	(機中泊) □□機
2	イスタンブール05：05着 イスタンブール07：45発 ビルバオ10：30着 (ゲルニカ)	航空機を乗り換え、ビルバオへ。 着後、ゲルニカへ。『ゲルニカの木』で有名な●バスク講堂へご案内します。 その後、ビルバオに戻り、世界最古の運搬橋世界遺産『ビスカヤ橋』に立ち寄り、ゴンドラの乗車体験をお楽しみください。 【2連泊】(ビルバオ泊) 機□夕	
3	ビルバオ	午前、公共交通機関を利用し、ビルバオの観光。●グッゲンハイム美術館を訪ねます。また、カラトラバ設計のスピリス橋や磯崎新設計の磯崎ゲートなど、ビルバオの建築散歩もお楽しみください。 午後、自由行動。ご希望の方は、ケーブルカーにてアルチャンダの丘にご案内し、ビルバオの街並みを俯瞰します。 夜、ご希望の方はバルへご案内します。(ビルバオ泊) 朝屋□	
4	ビルバオ08：30発 アルタミラ サビジャーナ・デル・マール フエンテ・デ17：30着	午前、世界遺産アルタミラ洞窟に隣接される●博物館へ。見学後、中世の町サビジャーナ・デル・マールにて昼食。 午後、アストゥリアス州に入り、スペイン初の国立公園ピコス・デ・エウロパの麓に位置するフエンテ・デへ。ご宿泊はパラドールです。 (フエンテ・デ泊) 朝屋夕	
5	フエンテ・デ09：00発 レオン18：00着	午前、ロープウェイにて展望台へ。ヨーロッパの頂を意味する連山ピコス・デ・エウロパの雄大な美しい景色をお楽しみください(注)。 午後、カンタブリア山脈を背に南下し、サンチャゴ巡礼路のフランス人の道にあるレオンへ。 【2連泊】(レオン泊) 朝屋夕	
6	レオン	午前、レオンの観光。世界最大級のステンドグラス作品を保有するスペイン・ゴシック様式の●カテドラル、フランシスコ・ザビエルを祀るイエズス会の教会として17世紀に建築されたバロック様式の●サン・イシドロ教会を見学します。 午後、自由行動。(レオン泊) 朝□夕	
7	レオン09：00発 アストルガ ピジャフランカ オ・セブレイロ ルーゴ18：00着	午前、サンチャゴ巡礼路と銀の道との交差点となるアストルガへ。着後、ガウディ設計の●司教館(巡礼博物館)を見学します。 その後、フォンセバドンに移動し、鉄の十字架(イロコ峠)まで、世界遺産サンチャゴ巡礼路を歩きます(約2.5km、約1時間)。 そして、巡礼者の心の支えとなった「赦しの門」があるピジャフランカに立ち寄り、パラドールでの昼食をお召し上がりください。 午後、世界遺産・巡礼路の最後の難所「セブレイロ峠」を越えて、巡礼路最古の教会が残るオ・セブレイロへ。古代ローマ時代以前に入植したケルト人の伝統家屋「バジョーサ」をご覧ください。 その後、城塞都市ルーゴへ。(ルーゴ泊) 朝屋夕	
8	ルーゴ09：00発 メリデ ポエンテ サンチャゴ・デ・コンポステーラ16：30着	午前、最古のサンチャゴ巡礼路プリミティヴォの道にある城塞都市世界遺産ルーゴにて、旧市街の散策にご案内します。 その後、メリデ向かい、メリデからポエンテまで、世界遺産サンチャゴ巡礼路を歩きます(約6km、約2時間)。 昼食後、最終目的地である聖地サンチャゴ・デ・コンポステーラを目指して移動します。到着手前では、『歓喜の丘』に立ち寄ります。 ご宿泊はパラドールです。 【2連泊】(サンチャゴ・デ・コンポステーラ泊) 朝屋夕	
9	サンチャゴ・デ・コンポステーラ	午前、サンチャゴ・デ・コンポステーラの徒歩散策。キリスト三大聖地のひとつ、巡礼路の終着点でもある●大聖堂を見学します。 その後、アラメダ公園へ。旧市街と大聖堂を望むスポットです。また、ガリシア州の新鮮な食材が並ぶ市民の台所●アバスト市場もご案内します。 午後、自由行動。(サンチャゴ・デ・コンポステーラ泊) 朝□夕	
10	サンチャゴ・デ・コンポステーラ09：00発 ポルト16：50発 イスタンブール23：35着	午前、聖ヤコブの遺骸が流れ着いた地バドロンへ。 その後、ポルト空港へ。 夕刻、航空機にてイスタンブールへ。(機中泊) 朝□機	
11	イスタンブール02：00発 羽田空港19：20着	深夜、航空機を乗り換え、帰国の途へ。 夜、羽田空港に到着後、解散。機機□	

※日程表の時刻は羽田空港発着のターキッシュエアラインズの便を想定したものです。ターキッシュエアラインズの成田空港発着便または他の航空会社を利用の場合には、発着空港および時刻、日程は異なります。
(注) 天候により、ご覧いただけない場合がございます。

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員：10名様 ■食事：朝食8回、昼食5回、夕食7回 ■添乗員：羽田空港または成田空港ご出発時から羽田空港または成田空港ご到着時まで同行します。 ■バスポート必要残存有効期間：帰国時150日以上 ■バスポート査証未使用欄：1ページ以上必要

天空の景勝列車も楽しむ

アンドラ公国と

美しきピレネー山麓の旅 10日間



ロマネスク様式の教会とアインサの村（イメージ）

ここに注目。旅のポイント

崖上を走るトロッコ列車

プチトラン・アルトゥーストに乗車

フランスとスペインの国境近くを走る「プチトラン・アルトゥースト」は、知る人ぞ知る小さなトロッコ列車。標高1900メートルの崖上を約1時間ゆっくりと走り、美しいアルトゥースト湖へと向かいます。周りに見えるピレネーの山々は3,000メートル級。断崖ギリギリを走る場面もあり、下を見ても上を向いても迫力あるピレネーの大パノラマを満喫することができます。下車後は美しく澄んだアルトゥースト湖の散策を楽しめます。



崖上を走る天空の景勝列車プチトラン・アルトゥースト(イメージ)



ピック・デュ・ミディ展望台から望むピレネー山脈(イメージ)

ツアープランナーより

スペインとフランスにまたがる雄大なピレネー山脈は、サンチャゴ巡礼路と結びつけて紹介されることが多いですが、元来ヨーロッパ有数の緑美しき山脈であり、巡礼路としてのピレネーとは違う顔も持っています。このたびは、そのピレネー山脈をひとつの地域として捉え、山上を走る天空の景勝列車やピレネー山脈を望む展望台、さらに湖からピレネー山脈の雄大な自然美を堪能します。また、ピレネー山中にひっそりと佇む小さな独立国アンドラ公国やロマネスクの教会が点在するボイ谷、ピレネーを背景に佇む素朴な村々など、ピレネー山脈の豊かな自然美に溶け込むように調和する小国や村々も訪れます。

ゴンドラとチェアリフトを乗り継いで

フランス側ピレネー最高峰を望むゴープ湖へ

ピレネー国立公園のボン・デ・エスパリーニャから、ゴンドラとチェアリフトを乗り継いで、ゴープ湖を訪れます。フランス側ピレネーの最高峰ヴィニヌマル山(標高3,298m)が望める絶景スポットで、静かに水を湛える湖面に青空と周囲の山々が映り込む景色をお楽しみください。また、ピレネー山脈越しの際には、ロープウェイで海拔2,877mに位置するピック・デュ・ミディ展望台にもご案内します。ピレネーの美しい山並みが眼下に広がります。(注2)



ゴープ湖の美しい景色 湖越しに名峰ヴィニヌマル山を望みます(イメージ)

ピレネー山麓の美しき

トルラ村とアインサ村を訪ねる

まさにピレネーの「大自然に溶け込むように佇む村」としてこのたびご紹介するのがトルラ村とアインサ村です。オルデサ国立公園の入り口にあるトルラ村は、石畳の小道と石造りの家々、そして背後に迫るピレネーの絶景が見事で、自然と村の調和がとても絵になります。アインサ村はロマネスク教会で知られ、大きく開けたマヨール広場を中心とした直線的な町並みで、高台にある村からはピレネーの山々を望むことができます。



背後に山々が迫るトルラ村

アンドラ公国に連泊し小国の文化に触れる

アンドラ公国はフランス大統領とセオ・デ・ウルヘルの司教が共同統治する独立国家です。世界最小の議事堂といわれる「谷の家」(注1)や大自然に溶け込むかのように佇むロマネスク教会などを訪ねます。



世界最小の議事堂と言われる谷の家

ボイ谷でカタルーニャ・ロマネスクの教会群を訪ねる

ピレネーの山間にひっそりと佇むロマネスク教会。その代表格がボイ谷であり、里ごとに鐘楼を備えた教会が残ります。その姿が背後に聳えるピレネーの山々に溶け込み、絵画のような美しさが魅力です。



ボイ谷のロマネスクの教会群を訪ねます(イメージ)

ご宿泊ホテル

■ アンドラ：アクタ・アートホテル

■ ルルド：ホテル・パノラマ

ルルドの聖域まで歩いてすぐの位置にある散策に便利なホテルです。

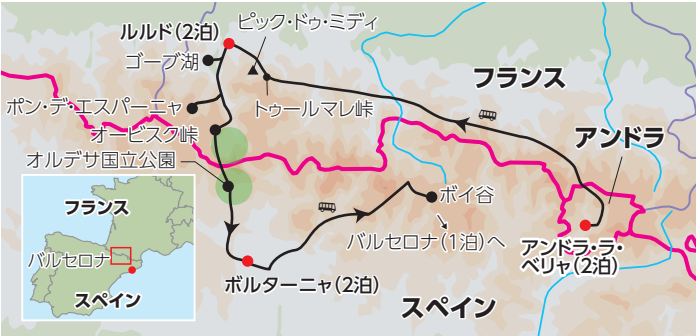
■ ボルターニャ：ホテル・モナステリオ・デ・ボルターニャ

16世紀の修道院を利用した中世の雰囲気を残す建物ながら、設備はモダンで快適なホテルです。

■ パルセロナ：カタルーニャ・アシャンブラ1864

カサ・バトリョやカサ・ミラまで徒歩圏内の散策に便利なホテル。

※バスタブ付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情及び昨今の世界的な「シャワーのみの客室」増加により、シャワーのみの客室となる場合がございます。



利用予定航空会社：エミレーツ航空、ターキッシュエアラインズ、エティハド航空、カタール航空、エールフランスグループ、LOT ポーランド航空、日本航空

集合・日数・出発日	旅行代金	
【成田または羽田空港集合・10日間】 7月16日(水)、8月20日(水)	エコノミークラス利用 ¥698,000	ビジネスクラス利用 ¥1,278,000
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥90,000にて承ります)		
ビジネスクラス利用区間： エミレーツ航空、ターキッシュエアラインズ、エティハド航空、カタール航空の場合：東京～中近東主要都市～パルセロナ間の往復に適用 上記以外の航空会社の場合：日本発着の国際線区間に適用		
燃油サーチャージ別途目安：¥66,000：11月1日現在		

地方発着追加代金	大阪・名古屋～東京 片道 …… ¥5,000 福岡・札幌～東京 片道 …… ¥10,000	包し付条件がごさいますので 各支店へお問い合わせください。
----------	--	----------------------------------

歌	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	成田空港22：30発→	夜、成田空港より航空機にて、ドバイへ。	(機中泊) □□機
2	ドバイ04：10 着 ドバイ08：15発→ パルセロナ13：25着 アンドラ・ラ・ベリャ18：00着	航空機を乗り換え、パルセロナへ。 着後、アンドラ・ラ・ベリャへ向かいます。 【2連泊】(アンドラ・ラ・ベリャ泊) 機機夕	
3	アンドラ・ラ・ベリャ	終日、 アンドラ・ラ・ベリャの観光 へ。バスにて、 ピレネー山麓の村やロマネスク教会 を訪ねます。また、アンドラの伝統住居を利用した ●カサ・ルール博物館 や、アンドラ・ラ・ベリャでは議事堂や法廷も兼ねた ●谷の家 を見学します。(注1) (アンドラ・ラ・ベリャ泊) 朝 昼□	
4	アンドラ・ラ・ベリャ 08：30発 ピック・ドゥ・ミディ ルルド17：30 着	午前、ピレネー山中をドライブし、 ピック・ドゥ・ミディ へ。 着後、ロープウェイにてピック・ドゥ・ミディの山頂(2,877m)の ピック・ドゥ・ミディ展望台 へ。ピレネー山脈の大パノラマをお楽しみください。(注2) その後、ルルドへ向かいます。 【2連泊】(ルルド泊) 朝 昼夕	
5	ルルド (ゴープ湖)	午前、ピレネー国立公園のボン・デ・エスパリーニャへ。ゴンドラとチェアリフトを乗り継ぎ、 フランス側ピレネー最高峰のニヌマル峰(3,298m)を望むゴープ湖 へご案内し、手軽な湖畔ハイキングを楽しみます。 午後、ルルドの散策へご案内します。 (ルルド泊) 朝 昼□	
6	ルルド08：30発 ボルターニャ 17：00 着	午前、バスにてファブレージュへ。着後、フランスとスペイン国境近くを走る 登山列車「プチトラン・アルトゥースト」に乗車し、ピレネー山脈の景色をお楽しみいただけます 。 午後、ボルターニャへ向かいます。 【2連泊】(ボルターニャ泊) 朝 □夕	
7	ボルターニャ (トルラ、アインサ)	終日、ピレネー山麓の美しき村々へ。 午前、世界遺産オルデサ国立公園の入り口に建つ トルラの村 へ。村の散策を楽しみます。 午後、アラゴン王国の古都でもある アインサ を訪ねます。 (ボルターニャ泊) 朝 昼夕	
8	ボルターニャ 09：00発 ボイ谷 パルセロナ18：00 着	午前、スペイン北部の世界遺産ボイ谷の初期ロマネスク様式教会群、 サン・クレメンテ聖堂 などを訪ねます。 午後、パルセロナへ向かいます。 (パルセロナ泊) 朝 昼夕	
9	パルセロナ 15：30発→	出発まで自由行動。(注3) 午後、航空機にてドバイへ。 (機中泊) 朝 □機	
10	ドバイ00：15 着 ドバイ02：40発→ 成田空港17：35 着	着後、航空機を乗り換え、帰国の途へ。 夕刻、成田空港に到着後、解散。 機機□	

※日程表の時刻は成田空港発着のエミレーツ航空の利用を想定したものです。エミレーツ航空の羽田空港発着便または、他の航空会社を利用の場合には、発着空港および時刻、日程は異なります。

(注1)「谷の家」は議会または裁判が開催される日には、内部にご案内できない場合があります。予めご了承ください。
(注2) 7月16日発は、4日目にツール・ド・フランスが開催され、ピック・ドゥ・ミディ展望台が閉鎖される予定のため、ルルドの観光を4日目に行い、ピック・ドゥ・ミディ展望台は5日目にご案内します。
(注3) 利用航空会社によっては発着時間が異なるため、自由行動の時間はお取りできない場合がございます。

ご旅行条件とご注意
■ 最少催行人員：10名様 ■ 食事：朝食7回、昼食5回、夕食5回 ■ 添乗員：成田空港または羽田空港ご出発時から成田空港または羽田空港ご到着時まで同行します。 ■ バスポート必要残存有効期間：帰国時6か月以上 ■ バスポート査証未使用欄：2ページ以上

大航海時代の建築と美しき街々

ポルトガル周遊の旅 10日間



ドウロ川から立体的に建物が建ち並ぶポルトの街並み

ここに注目。旅のポイント

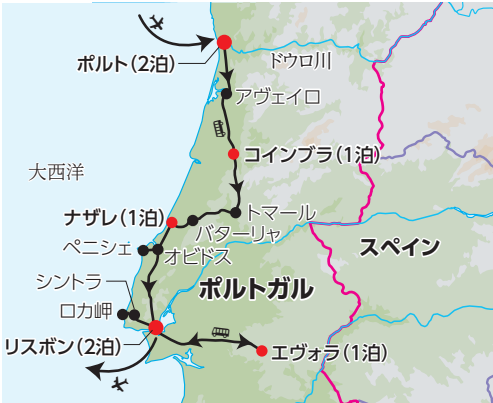
昔ながらのポルトの街並みを角度を変えてご案内します

リスボンと異なり、北部のポルトでは大きな震災がなく、昔ながらの風情ある街並みが今も残されています。赤い瓦と石の古い街並みの中を歩いていると、アズレージョと呼ばれる青色のタイルで装飾されたサン・ベント駅や教会などがあり、散

策も楽しい街です。また、古き家並みが残るドウロ川沿いの景観もお勧め。二重橋の美しいドン・ルイス1世橋を含め、6つの橋をくぐるドウロ川クルーズやポートワインの老舗メーカーの見学にもご案内します。



見事なアズレージョで彩られたサン・ベント駅



ツアープランナーより

ポルトガルはレコンキスタの時代に北部からイスラム勢力を駆逐しながら、南へと領土を拡大していきました。イベリア半島の南端に到達した後は、領土拡大を海の彼方に求め、大航海時代のパイオニアとして黄金時代を築きました。海洋国家として繁栄を極めたポルトガルでは、首都リスボン、古都ポルト、学都コインブラなど海沿いに栄華の足跡が色濃く残る一方、内陸のポルトガルの原風景ともいえるような素朴さが漂う小さな町や村も大変魅力的です。アヴェイロやナザレなど途中の個性溢れる街々も時間をとってご案内します。また、内陸のアレンテージョ地方まで足を伸ばし、世界遺産エヴォラに宿泊。古代ローマから続く街の歴史と併せてご案内します。

大航海時代の面影を感じるリスボンと近郊を訪ねる

テージョ川の河口に広がる首都リスボン。紀元前1000年頃フェニキアの植民都市として始まり、大航海時代には栄華を極めた歴史の街であり、起伏に富んだその地勢から「7つの丘の街」とも呼ばれます。滞在中には、ポルトガルでも随一の美しさを持つジェロニモス修道院や新大陸を求めて旅立つ船を見送ったベレンの塔など、大航海時代の栄華を感じさせる世界遺産を訪問します。また、郊外の見どころであるロカ岬と世界遺産の街シントラの王宮も訪れます。



ポルトガル全盛期のマヌエル様式が特徴のジェロニモス修道院

古代ローマ時代からの歴史を感じさせるエヴォラを訪問

ポルトガル東部、アレンテージョ地方を代表する街エヴォラは、古代ローマ時代に起源を持ちます。城壁に囲まれた旧市街には歴史的建造物が残り、保存状態が良く、1986年に世界遺産に登録されました。このたびは、2世紀から3世紀にかけ

てローマ人によって建造されたディアナ神殿やかつて天正遣欧少年使節団がパイプオルガンを弾いたことでも知られるポルトガル最大級の大聖堂など、屋根のない博物館のような旧市街をじっくりと見学します。



古代ローマ時代の遺構、ディアナ神殿



天正遣欧少年使節団も立ち寄ったエヴォラの大聖堂

ツアーの見どころ

「谷間の真珠」と称される城郭都市オビドス

周囲1.5キロほどの城壁に囲まれた町オビドス。ポルタ・ダ・ビラ(町の門)をくぐるとそこには数世紀前の家並みがそのまま残っています。白壁に赤い屋根の家が建ち並び町並みは「谷間の真珠」とも称され、13世紀のディニス王はこの町の美しさに魅せられ、当時の王妃に村をプレゼントしたという逸話も残っています。



可愛い町並みのオビドス (イメージ)

個性溢れる小さな町々も訪問

このたびは、運河が流れるアヴェイロや大学の町コインブラ、ポルトガル後期ゴシックの傑作建築があるバターリャなども訪問します。かつては漁村だったナザレでは地元の生活風景を感じる朝の散策へご案内します。



運河沿いにカラフルな建物が並ぶアヴェイロ

懐かしさを感じさせる食事とお菓子も楽しみです

お食事はオリーブオイルやニンニクの使用は控えめで、派手さは無いものの、新鮮な食材の良さを生かした素朴な味付けは日本人の口にもよく合います。国土の自然環境や歴史文化を反映してか、郷土料理にはシーフードも多く、特に様々な料理で使われる塩漬けの干しダラ「パカリャウ」が有名です。各地の特徴あるワインと共にぜひ、お召し上がりください。また、ポルトガル各地で作られるお菓子も絶妙です。甘すぎず、大すぎず、しかしながら濃厚なカスタードが病みつきになるエッグタルトをはじめ、カステラの原型「パン・デ・ロウ」など南蛮貿易以来の日本とのつながりを感じさせてくれます。



肉料理が多いヨーロッパにあって、シーフードも豊富なポルトガル。日本人の口にも合うと評判です (イメージ)



ポルトガルを代表する銘菓のひとつ、パステイス・デ・ナタ。各地でおいしくお菓子もお楽しみください (イメージ)

利用予定航空会社：ターキッシュエアラインズ、エールフランスグループ、カタール航空、エティハド航空、日本航空、イベリア航空、ルフトハンザグループ
ツアーコード：ES032T

集合・日数・出発日		旅行代金	
【羽田または成田空港集合・10日間】 4月20日(日)、5月11日(日)、 9月28日(日)、10月19日(日)		エコノミークラス利用 ¥698,000	ビジネスクラス利用 ¥1,218,000
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥120,000にて承ります)			
ビジネスクラス利用区間： 【ターキッシュエアラインズ、カタール航空、エティハド航空利用の場合】 東京～中近東主要都市～ポルト/リスボン～中近東主要部～東京間に適用 【上記以外の航空会社】日本発着の国際線区間に適用			
燃油サーチャージ別途目安：¥74,500：11月1日現在			

地方発着追加代金	大阪・名古屋～東京 片道 …… ¥5,000 福岡・札幌～東京 片道 …… ¥10,000	包付機内食がご用意しますので 各支店へお問い合わせください。
----------	--	-----------------------------------

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	羽田空港21：55発➔	夜、羽田空港より、航空機にイスタンブールへ。	(機中泊) □□機
2	イスタンブール 05：05着 06：50発➔ ポルト09：45着	航空機を乗り換えポルトへ。 ポルト着後、 ポルトの市内観光 。アズレージョの美しい● サン・ベント駅 や 歴史市区の散策 へ(注)。 【2連泊】(ポルト泊) 機屋□	
3	ポルト	午前、 6つの橋をくぐるドウロ川クルーズ (所要50分)にご案内します。その後、 ポートワインの老舗メーカー を見学します。 午後、自由行動。	(ポルト泊) 朝屋□
4	ポルト09：00発 機 アヴェイロ 機 コインブラ12：30着	午前、 水の都アヴェイロ へ。着後、運河沿いの散策を楽しみます。その後、コインブラへ。 着後、 コインブラの観光 。●旧大学、●大学図書館を見学します。	(コインブラ泊) 朝屋夕
5	コインブラ09：00発 機 トマル 機 バターリャ 機 ナザレ17：00着	午前、ポルトガル最大の修道院が残る トマル へ。マヌエル様式の美しい画● キリスト修道院 、そしてポルトガルの勝利を記念して建てられた画● バターリャ修道院 を訪ねます。 その後、ナザレへ。	(ナザレ泊) 朝屋夕
6	ナザレ08：00発 機 ベニシェ 機 オビドス 機 エヴォラ17：00着	朝、 ナザレの散策 にご案内します。 その後、 港町ベニシェ に立ち寄り オビドス へ。 昼食はオビドスのボサダにて。 夕刻、アレンテージョ地方のエヴォラに到着。	(エヴォラ泊) 朝屋夕
7	エヴォラ14：30発 機 リスボン16：00着	午前、 画古都エヴォラの市内観光 。●カテドラル、○ディアナ神殿などにご案内します。 昼食後、リスボンへ。	【2連泊】(リスボン泊) 朝屋□
8	リスボン	午前、 リスボンの観光 。●ジェロニモス修道院、○ベレンの塔、○ 発見のモニュメント にご案内します。その後、 路面電車を使ってアルカンタラ展望台 へ。リスボンの街やテージョ川が一望できます。 午後、自由行動。	(リスボン泊) 朝□夕
9	リスボン08：00発 機 (ロカ岬、シントラ) リスボン16：30発➔ イスタンブル23：20着	午前、 ユーラシア大陸最西端のロカ岬 に立ち寄り、 シントラ へ。● 王宮を見学 (注)。 その後、リスボン空港へ。 夕刻、航空機にてイスタンブールへ。	(機中泊) 朝□機
10	イスタンブール 02：00発➔ 羽田空港19：20着	イスタンブール着後、航空機を乗り換え、帰国の途へ。 夜、羽田空港に到着後、解散。	機機□

※日程表の時刻は羽田空港発着のターキッシュエアラインズの利用を想定したものです。ターキッシュエアラインズの成田空港発着便、または他の航空会社を利用の場合には、発着空港および時刻、日程は異なります。
(注)利用航空会社によっては発着時間が異なるため、観光を別の日にご案内する場合があります。

ご旅行条件とご注意

■最少催行人数：10名様 ■食事：朝食7回、昼食6回、夕食4回 ■添乗員：羽田空港または成田空港ご出発時から羽田空港または成田空港ご到着時まで同行します。 ■バスポート必要残存有効期間：帰国時150日以上 ■バスポート査証未使用欄：2ページ以上必要

ご宿泊ホテル

- ポルト：ネヤ・ホテル・ポルト(4/20発以外)
セニカ・ポルト・ホテル(4/20発)
- コインブラ：ヴィラ・ガーレ・コインブラ
- ナザレ：ホテル・ミラマー・スル
- エヴォラ：エヴォラ・ホテル(4/20発以外)
ヴィラ・ガーレ・エヴォラ(4/20発)
- リスボン：インスピラ・リベルダーデ・ブティック・ホテル

※バスタブ付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情及び昨今の世界的な「シャワーのみの客室」増加により、シャワーのみとなる場合がございます。